



学校だより

横浜市立釜利谷中学校
発行日 令和4年1月7日(金)
発行者 学校長 木村 典明
所在地 金沢区釜利谷南3-5-1
電話 784-7311 FAX 783-9762

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamariya/>

学校教育目標

人との関わりを大切にします。(徳、公)
生きるための学びを大切にします。(知、開)
心と命を大切にします。(体、徳)

知…生きてはたらく知
徳…豊かな心
体…健やかな体
公…公共心と社会参画
開…未来を開く志

「厳しさと優しさ」

校長 木村 典明

新年あけましておめでとうございます。旧年中は釜利谷中学校の教育活動にご協力とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。今年も教職員一丸となって生徒たちの健やかな成長のために邁進してまいりますので、何卒よろしく願いたします。

さて、今年最初の巻頭記事では、私のお気に入りの唄をご紹介します。

故田中邦衛さんが主演黒板五郎を演じるドラマ「北の国から」の中で、五郎さんがこぶしを左右に振りながら「♪やるなら今しかねえ やるなら今しかねえ」と歌うシーンがあります。二人の子どもの行く末を案じながら、北海道の大自然の中で力強く暮らす五郎さんの逞しさが出ているシーンです。

この五郎さんが歌っているのが、私のお気に入りの1曲で、長渕剛さんの「西新宿の親父の唄」といいます。唄の主人公は売れないシンガーソングライター。彼の行きつけだった飲み屋の親父の在りし日の面影をしのんでいます。中でも私が印象に残っているのは、「♪錆びついた包丁研ぎ とれたての鯛をさばき 『出世払いでいいからとっとと食え』って言った」という一節。普段、主人公にいつも怒鳴ってばかりいる厳しい飲み屋の親父が、自分の若い頃と主人公の姿が重なったのか、「負けんなよ！頑張れ！今が大事だぞ！」って、不器用だけど心に染むような優しさを垣間見せる場面です。

厳しいだけ、あるいは優しいだけでは、子どもの教育にはどうなのかな、と疑心暗鬼になってしまいます。かといって、「厳しさの中にも優しさがある」「優しさの中にも厳しさがある」という微妙なバランスは、30 数年教員をやっていても、なかなか体得できるものではありません。きっと保護者のみなさんも日々悩みながらお子さんと向き合っていることと思います。でも、大事なことは、悩みながらも不器用ながらも「負けないでね！頑張って！今が大切なときだよ」って応援し続けてあげることではないでしょうか。

「♪やるなら今しかねえ やるなら今しかねえ」

出典：「西新宿の親父の唄」作詞・作曲：長渕剛

◇令和3年度全国学力・学習状況調査 報告

5月27日に3年生を対象として実施された全国学力・学習状況調査について、文部科学省総合教育政策局調査企画課学力調査室から調査結果が送付されましたので報告します。

①調査結果概況

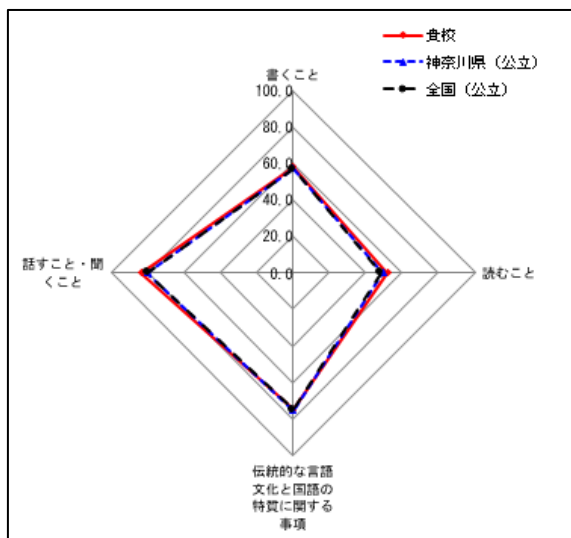
〔国語〕	生徒数	平均正答数
釜利谷中学校	194	9.3/14
神奈川県(公立)	58,956	9.1/14
全国(公立)	903,157	9.0/14

〔数学〕	生徒数	平均正答数
釜利谷中学校	194	9.3/16
神奈川県(公立)	58,985	9.3/16
全国(公立)	903,253	9.1/16

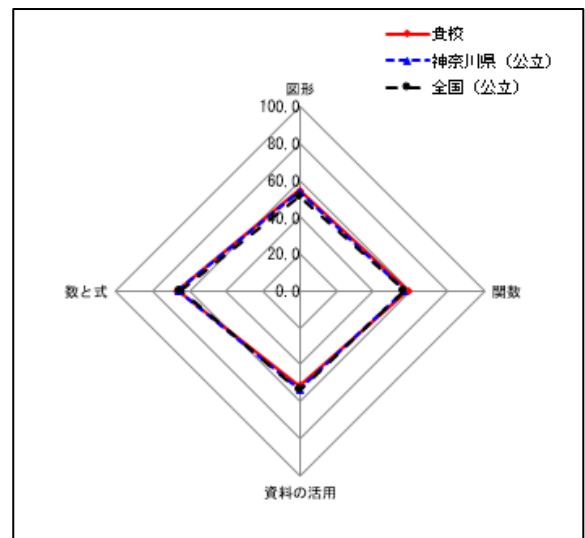
国語科では全国・神奈川県平均を上回っている。数学科では全国平均を上回り、神奈川県平均並みである。

②学習指導要領の領域等の平均正答率の状況(※「貴校」となっているグラフが釜利谷中です)

〔国語〕



〔数学〕



③本校による考察

国語での正答率を、評価の観点で見ると、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」の項目で全国平均を上回っているが、「言語についての知識・理解・技能」の項目においては全国平均並みである。この「言語についての知識・理解・技能」の評価の観点に関する設問について、問題番号4-②〔漢字を読む(詳細)〕では、文脈に即して漢字を正しく読むという出題の趣旨であるが、全国平均88.8%に対して本校90.7%と上回っている。その一方で、問題番号4三〔「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する〕では、相手や場に応じて敬語を適切に使うという出題の趣旨であるが、全国平均40.3%に対して本校36.1%と少し開きがあった。

数学での正答率を、評価の観点で見ると、「数学的な見方や考え方」の項目で全国平均を上回っているが、「数量や図形などについての知識・理解」の項目においては全国平均並みである。「数学的な技能」の項目では全国平均をわずかに下回っている。「数学的な見方や考え方」の評価の観点に関する設問について、問題番号6(2)〔四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する〕では、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるという出題の趣旨であるが、全国平均61.8%に対して本校69.6%とおおよそ8%上回っている。また生徒質問紙の調査においては〔数学が好き〕という生徒が全国平均59.1%に対して本校70.3%と11%以上高いことから、比較的多くの生徒が授業を意欲的な態度で取り組み、学習の成果が現れていると考えられる。

国語、数学の2教科において、【記述式】の「活用」に関する問題形式が、他の【選択式】【短答式】の問題形式よりも、全国平均より高い正答率となっており、今後は「知識」に関する基礎・基本的な学習をよりいっそう進めていくことで、より発展的な「活用」へと応用できるようになると考えられる。

◇新しい風が吹きます 一生徒会本部役員決まる！—

12月10日（金）に新しい生徒会本部役員を決める生徒会本部役員選挙が行われました。旧役員からバトンを渡された新役員が、よりよい釜利谷中学校とするためにどんな新風を巻き起こしてくれるのか、大いに期待したいところです。

代表して、新生徒会長の選挙の際の自己PRを紹介します。

僕が生徒会長になったらやりたいこと、それは、生徒の願いをくみとり、行動に移すこと、あいさつ運動などを行いあいさつがとびかう学校にしていくことです。これらをやっていくことで、より多くの方が、少しでも楽しいと思えるような学校にしていきたいと思っています。

具体的に言うと、一人一人の声を聞くためには、みんなが話しやすい環境が必要だと思います。そんな環境にするためには、あいさつがとびかい、コミュニケーションが日々行われているべきだと考えます。

そして、より楽しいと思える学校にしてみせます。楽しい学校にしたいという人は、ぜひ一票をお願いします。

◇学校に行きたくないな... 一講演会・保護者交流会のお知らせ—

何らかの心理的あるいは社会的な要因や背景などによって、学校に行くことに抵抗を感じるという児童生徒が全国的に増えています。そのようなお子さんを目の前にしている保護者のみなさんは、きっとお困りのことと思います。「悩みが尽きない」「卒業後のことを考えると不安」・・・そんな保護者のみなさんのお悩みに少しでも寄り添うことができると、横浜市教育委員会のスクールスーパーバイザーでいらっしゃる岡田弘先生（東京聖栄大学教授）に、登校しづらさを感じるお子さんとの向き合い方について講演していただきます。また、講演後は、悩みやお困り感をシェアする保護者交流会も持ちたいと思います。激しく変化する社会の中であって、いつ、どの子が、そうなってもおかしくない時代となっています。お子さんの現在の状況に関わらず、ぜひ奮ってご参加いただければと思います。



主催 本校PTA成人委員会

日時 1月20日（木）10:00～12:00

第1部：講演会 10:00～11:00 第2部：保護者交流会 11:00～12:00











会場 本校2F 調理室

講師(第1部) 岡田弘氏（東京聖栄大学教授、川崎市教育委員、横浜市教育委員会スクールスーパーバイザーなど、子どもの教育に関わる活動を幅広く展開中）

講演テーマ 学校は行かなきゃいけないの？-学校に行きづらさを感じている子どもの向き合い方-
 その他 第1部のみ、第2部のみでの参加も可能です。
 お申し込みは不要です。



◇ 1月の主な予定

-  1日 (土) 元日
-  4日 (火) 学校閉庁日
-  7日 (金) 始業式
-  10日 (月) 成人の日
-  11日 (火) 教育相談 (~14日)
-  15日 (土) 防災とボランティア週間 (~21日)
-  17日 (月) 防災とボランティアの日
防災訓練 専門委員会
-  19日 (水) 個別支援学級市合同学芸会(金沢公会堂)
生徒委員会
-  20日 (木) PTA 主催講演会 & 保護者交流会
-  28日 (金) 1・2年生 SNS 講習会



次回の発行予定日は2月1日(火)です。